

第2次 恵那市アウトドアレジャー推進計画

【概要版】

令和8年3月

恵那市

一般社団法人 ズバスクラム恵那





【策定の背景】

- ① 令和4～7年度の前計画は、新型コロナウイルス感染症の蔓延による新しい生活様式への変容の中で策定
- ② 観光産業における「マイクロツーリズム」の広がり
- ③ 自然豊かな場所への「グリーンツーリズム」を好む傾向の増大

【前計画の 施策と成果】

- ① 新たなグランピング施設「Hoko.Glamping」を整備し、宿泊環境を充実
- ② 地域型予約販売誘客サイト「Aeru (アエル)」を立ち上げ、観光資源のデジタル化により販売を促進

【課題と今後 の方向性】

- 課題① 既存施設の整備遅れへの対応、体験型観光を支えるガイドやインストラクターの確保
- 課題② 宿泊、体験、食の連携不足
- 方向性① 宿泊、体験、食の連携強化による滞在時間の延長やリピート促進のほか、体験型観光を支える人材育成に注力
- 方向性② 施設整備の加速による観光地の環境整備と、住民の声を反映した計画策定・推進



1.目的

恵那市におけるアウトドアレジャーの推進に関する考え方や方向性を明らかにし、望ましい取り組みを整理し、計画的に事業を実施するために策定。第2次恵那市観光ビジョンの推進に寄与し、同ビジョンで掲げる将来像「恵那の誇りと個性を磨き、地域交流を促進し、持続可能な観光地として稼ぐ力を高める」を目指す。

第2次恵那市観光ビジョンの将来像

「恵那の誇りと個性を磨き、地域交流を促進し、持続可能な観光地として稼ぐ力を高める」

計画の位置づけ：恵那市観光ビジョンの分野別個別計画として、同ビジョンとの整合を図る。





2.基本理念

まち全体アウトドアパーク

～「宿泊」×「体験」×「食」による滞在と回遊で地域活性化へ～

恵那市では、市全体を「アウトドアパーク」と捉え、自然資源や文化を活用して多様な観光客を迎え入れる。地域に分散配置している「宿泊」「体験」「食」を、まち全体を一つのホテルに見立ててつなぎ、回遊を促す「アルベルゴ・ディフーズ」の恵那版として、滞在時間の拡大と地域活性化を目指す。

また、自然・文化を活かした体験で初回に感動を生み、再訪では学びを深めるリピート設計により、ファン化とリピーター獲得につなげる。



2. 基本理念

【基本方針】

1 全体マネジメント

「アウトドアコミュニティえな」などと連携し、行政・地域・住民が共通の目標に向かう、マネジメント体制を確立します。

3 アクティビティの造成

自然資源を最大限に活かした体験型アクティビティを充実させ、事業者の育成や誘致を進め、幅広い体験メニューを提供します。

5 エリア戦略

アルベルゴ・ディフーズの構想に基づいて、地域特性に合わせたアウトドアレジャーの展開を進めます。

2 宿泊施設の整備・支援

宿泊施設の整備を支援し、既存施設の改修や地域資源を活かした新たな宿泊プラン提供を推進します。

4 波及効果の創出

アウトドアレジャーによる地元食材や自然資源の利活用を通じて、地産地消や森林資源活用を進めます。





2. 基本理念

【推進の方向性】

1 ターゲットの違いを理解し、対応するサービスを提供する

キャンプとグランピングではターゲット層が異なります。キャンプはアウトドア志向のコアターゲットに向けて提供し、グランピングはアウトドア体験を求める一般旅行者（マスターゲット）に提供します。

キャンプ

従来のアウトドア市場から
のコアキャンパー

キャンプ人口

2023年 年間600万人
(日本オートキャンプ協会調べ)

グランピング

自然を楽しみたいライトアウトド
ア層や一般の観光客・国内旅行層

国内旅行者数

2024年 年間6億5906万人
(観光庁)

4 人材を育成し、観光業の質を向上させる

体験型観光の持続的発展のため、ガイド・インストラクターや補助的な人材を育成し、質の高いサービスを提供する人材を確保します。また、地域事業者への研修等により観光業全体の質を向上します。

2 宿泊の多様性から宿泊を誘引し、観光経済を活性化する

恵那市内に滞在してもらうため、アウトドア観光で肝となる宿泊施設には観光客のニーズに合った多様性が求められます。宿泊による滞在時間の延長は、体験や食の消費促進、経済波及効果につながります。

3 体験を提供し、ファン&リピーターを確保する

恵那市の自然や文化を活かした体験を通じてリピーターを獲得します。リピートには、初回の感動と2回目以降の知識の深化（感情から認知への移行）が重要で、これによりファン獲得につながります。

5 住民意識を高め、地域活性化につなげる

持続的に取り組みを進めるため、住民に寄り添いつつ意識を高め、アウトドアレジャーの推進による効果を市全体に波及させることで、地域活性化につながります。

3. 施策の体系



分野

施策

1. 宿泊

- ①多様な宿泊の創出による滞在性の喚起と経済効果の向上
- ②拠点宿泊施設を軸にした「宿泊」「体験」「食」の連携強化
- ③冬季も楽しめる宿泊環境（暖房、雪対策など）の整備



2. 体験

- ①地域資源を活かした体験型アクティビティの造成・充実
- ②体験活動運営の担い手となるインストラクターや事業者の育成強化
- ③宿泊と体験をセットで提供するツアーやパッケージの開発






3. 食

- ①恵那ならではの食文化体験による地域交流の促進
- ②恵那の食材を活かしたアウトドアメニューの大展



3. 施策の体系



分野	施策
4. 買い物	<ul style="list-style-type: none">①アウトドアに適した「恵那ならではの」土産物の開発・磨き上げ②土産物のオンライン販売の強化 
5. ICT活用	<ul style="list-style-type: none">①地域型予約販売誘客サイト「アエルサイト」の機能強化②デジタルマップと特集ページの強化による施設紹介の充実③SNSや口コミレビューを活用した興味喚起と認知度向上 
6. 冬季対策	<ul style="list-style-type: none">①恵那らしい冬季アウトドア体験とパッケージ提供の充実 
7. 人材育成	<ul style="list-style-type: none">①ガイドやインストラクターなどの人材育成の推進（補助的人材含む）②接客スキル・外国人対応・地域ガイド知識を高める研修の提供③新たな観光事業者の誘致・支援による地域観光業の活性化



その他

本計画は、恵那市におけるアウトドアレジャーの推進を図るため、
施策を体系化することで整理し、方向性を明らかにしたものである。

今後は、本計画に沿って事業を企画・実施していくことで、
市全体の活性化に寄与していく。